

学生による授業評価アンケートについて（都市計画）

文責：宇於崎勝也

前期授業の最後に行った「学生による授業評価アンケート」の集計結果が出ました。回答数は環境・構造コース、企画経営コース（金曜日3時限目）78名、設計・計画コース（木曜日3時限目）18名です。5段階の評価を行う設問では、「9. 学生の反応や理解度を考慮しながら授業を行った」「10. 授業が静粛に運ぶよう配慮した」が「どちらともいえない」という中間評価に近くなっており、私の反省点として挙げられます。「13. 授業に関する質問を行った」「15. 予習、復習やレポート提出など授業時間外の自己学習に積極的に取り組んだ」「16. 授業への出席率は高かった」が学科・科目区分全体平均、学部全科目の平均よりも下に出ています。レポート課題は出題しておりませんが、これらネガティブな反応は学生の皆さんが自覚していることだと思います。

全てのコースをあわせて23名が自由記述欄に回答を寄せました。内容をTAにまとめていただいたところ、悪かった点、改善して欲しい点として下記のような意見がありました。

- ・教室内がうるさい（うるさい人への対応をしてほしい）—9票（うち2票）
- ・1回の授業の情報量が多く覚えきれない（スライドに文字が多い）—4票（うち1票）
- ・パワーポイントの進行が早い（ノートをとる時間がほしい）—4票（うち2票）
- ・受講生に対して教室が狭い—3票
- ・現代の具体的な事例やキャンパス周辺の計画等を詳細に聞きたかった—2票

本意見を反映して次年度より授業の工夫をいたします。

・教室内がうるさい

> ガイダンス時にお話ししたように、自分達で授業を受ける環境、向学心のわく環境を作る努力をしていただきたいと思います。あまり騒がしすぎて授業を妨害されるようになった場合には退出を促すつもりでしたが、今年度は行いませんでした。次年度からさらに徹底して実施します。

・1回の授業の情報量が多く覚えきれない（スライドに文字が多い）

> 都市計画の授業は内容が多岐にわたるにもかかわらず、授業時間は限られています。わずか半期の間に一般教養として身に付けて欲しい都市計画の内容が多量かつ多様であること事実です。また、スライドの枚数が多いのは図表・写真を多用しているためです。スライドの内容をノートに写しきれないという指摘もありましたが、ガイダンス時にお話ししたように1字1句をノートにとって貰うことは想定しておりません。授業の各回のポイントは配布するプリントと、授業の内容が記述してある教科書のページをお話ししていますので、復習は教科書を中心に行ってください。

・パワーポイントの進行が早い（ノートをとる時間がほしい）

> 講義のポイントを絞り、かつ配布物を充実して余裕のある講義を心がけます。毎年宣言している割には、少しも改善されずに申し訳ありません。

・受講生に対して教室が狭い

> 教務課に対して改善要求はしていますが、各コースの所属学生数が4月にならないと判明しないシステムの中では、授業受講者数を正確に予測することが困難です。また、現状でも建築学科が使用できる最大収容者数の教室を使用しています。環境が悪いことは確かですが協力し合って受講してください。

・現代の具体的な事例やキャンパス周辺の計画等を詳細に聞きたかった

> 機会があるごとに近隣の事例を持ち出し、千代田区の都市計画の実態もお話ししていると思います。ただし、具体的な都市計画事業や制度に関しては、ガイダンス時にお話ししたように都市計画で講義を行っています。ぜひ受講をしてください。

以上